

散山節（さんやまぶし）

一揚

二揚

2/2

一、誠かや実か我肝狂れ狂れとう
寝覚驚きぬ 夢ぬ心地

二、のがやう山嵐吹き出ゆる花に
一盛りむ待たぬ吹きよ散らす

三、誰が先なゆら定まらぬ世界や
日々の云語れど遺言さらめ